



「自分の安全・命は自分で守る」 第2弾は避難訓練

本日26日(水)、秋田県の『県民防災の日』にあわせ、地震を想定して基本的な行動を確認するための避難訓練を行いました。

Q:地震が起きたら、まずすることは?

A:子どもたちは、先生の指示を聞く、机の下に隠れる、「お・は・し・も」を守って避難する。

先生たちは、指示を出しながら戸を開けて出入り口を確保する、火や電気を消す、誘導する…。

Q:地震の後に続いて起こりうることは?

A:建物が壊れる。ガラスが割れて飛び散る。棚や扉が倒れてくる。閉じ込められる。火事になる。

津波がくる。地割れがある。土砂崩れがおこる…。



子どもたちはよく知っていて行動できました。そこで、「自助」に加え、特に上学年に向けては、みんなで力を合わせて助け合う「共助」についても期待していることを話しました。

大きな災害を経験していない子どもにとっては特に、その怖さを実感して備えることは難しいことです。これからも、油断せず、慌てず落ち着いて行動できるよう、折にふれて指導を繰り返していきたいと思っています。

ご家庭でも、災害への備えについて話題にしてくださいませようお願いします。

昼休みの様子 教室で 図書室で 多目的スペースで グラウンドで …

先週の19日(水)、20日(木)の昼休みの様子です。勉強、読書、運動、おしゃべり…、それぞれの場所で有意義に過ごしている様子をとらえることができました。

